

2026 年 3 月 期 第2四半期(中間期) 決 算 発 表 補 足 資 料

2025年10月31日
日本ガイシ株式会社

〔セグメント間売上消去後〕

□ は2025年4月公表値

	2025年3月期 中 間 期		2026年3月期 中 間 期		前年 同期比
	実 績	構成比	実 績	構成比	
	億円		億円		
売 上 高 合 計	2,984	100%	3,1003,262	100%	+9%
<海 外 売 上 高 合 計>	<2,348>	79%	<2,562>	79%	+9%
営 業 利 益 (率)	397 (13%)		330487	(15%)	+23%
エンバイロメント事業 （“EN事業”）	1,923	64%	1,8401,966	60%	+2%
営 業 利 益 (率)	353 (18%)		260371	(19%)	+5%
デジタルソサエティ事業 （“DS事業”）	791	27%	940978	30%	+24%
営 業 利 益 (率)	53 (7%)		100135	(14%)	+157%
エネルギー&インダストリー事業 （“E&I事業”）	269	9%	320318	10%	+18%
営 業 利 益 (率)	△9 (－)		△30△18	(－)	

		売上高比		売上高比	前年 同期比
経 常 利 益	384	13%	295467	14%	+22%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	259	9%	190239	7%	△8%
R O E	－		－		
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	87.02円		81.58円		
配 当 金 (配 当 性 向)	30円		38円		

為 替 レート(円/USD)	152	147
為 替 レート(円/EUR)	165	168

設 備 投 資	219	7%	255	8%	+17%
減 価 償 却 費	285	10%	278	9%	△3%
研 究 開 発 費	140	5%	148	5%	+6%

□ は2025年4月公表値

	2025年3月期 通 期		2026年3月期 通 期		前期比
	実 績	構成比	見 通 し	構成比	
	億円		億円		
売 上 高 合 計	6,195	100%	6,3006,500	100%	+5%
<4,838>	78%	<5,100>	78%	+5%	
812	(13%)	750850	(13%)	+5%	
3,904	63%	3,7103,900	60%	△0%	
683	(17%)	590640	(16%)	△6%	
1,716	28%	1,9401,950	30%	+14%	
172	(10%)	210230	(12%)	+34%	
576	9%	650650	10%	+13%	
△42	(－)	△50△20	(－)		

	売上高比		売上高比	前期比
782	13%	700820	13%	+5%
549	9%	550550	8%	+0%
7.8%		7.6%7.4%		
185.96円		187.65円189.44円		
60円(32.3%)		66円(35.2%)76円(40.1%)		

152	135146
164	155169

488	8%	680630	10%	+29%
573	9%	570570	9%	△1%
296	5%	360350	5%	+18%

第2四半期(中間期)の要点 … 売上高、営業利益、経常利益は、第2四半期の過去最高を更新。

NAS[®]電池の製造及び販売活動終了に係る特別損失により、純利益は減少。

- ① 事業別業績概況(売上高・営業利益)
- 【EN事業】… 増収・増益
・自動車関連
関税率引き上げを見越した駆け込み需要等により増収。
売上高の増加及び費用発生の遅れ等により、営業利益も増加。
- 【DS事業】… 増収・増益
・HPC※
先端ファウンドリ工場新設の計画後退はあるものの、AI用途の半導体に対する需要は継続。
一部客先の在庫積み増しが上期に集中したこともあり、増収・増益。
・電子デバイス
HDD用圧電素子はデータセンター投資が堅調で安定的に製品需要が推移しているものの、
ハイセラムキャリアの生産能力増強に伴う先行費用等を計上し、減収・減益。
- 【E&I事業】… 増収・赤字継続
・ガイシ
国内外のがいし需要は堅調に推移。
・エナジーストレージ
国内蓄電所向けの販売により増収。
- ② 為替影響
売上高△38億円、営業利益△29億円
(前年同期152円/USD→当期147円/USD、165円/EUR→168円/EUR)
- ③ 特別損益
事業構造改革費用117億円、固定資産減損損失25億円(絶縁放熱回路基板 21億円他)
- ④ 配当
中間38円で決議。(4月予想から5円の増配)
- ※ HPC…半導体製造装置用製品

通期 見通しの要点 … 前期比 増収・増益、売上高・営業利益は過去最高を更新する見込み。

NAS[®]電池に係る特別損失を計上し、当期純利益は4月公表値を据え置き。

- ① 事業別業績概況(売上高・営業利益)
- 【EN事業】… 売上高 横ばい・減益
・自動車関連
米国関税の直接影響は限定的。市況は期初想定通り米国中心に下期減速を想定。
為替円高影響もあり前期比で売上高は横ばい・減益見込み。
- 【DS事業】… 増収・増益
・HPC
在庫積み増しによる需要は、下期に剥落を想定するものの、AI用途の半導体需要は継続し、
増収・増益見込み。
・電子デバイス
旺盛なデータセンター投資が下期も継続し、HDD用圧電素子需要は堅調を維持。
事業の持続的な成長と競争力の強化のため、電子デバイス事業の再編を決定。
- 【E&I事業】… 増収・赤字継続
・ガイシ
上期同様、堅調な国内外の送配電網投資による需要増が継続し、増収・増益見通し。
・エナジーストレージ
NAS[®]電池の製造及び販売活動を終了。受注済案件は順次出荷予定。
- ② 為替影響
・前期比
売上高 △65億円、営業利益 △33億円
(前期152円/USD→当期146円/USD、164円/EUR→169円/EUR)
(下期為替前提:145円/USD、170円/EUR)
- ・下期1円当たりの影響
USD (売上高+7億円、営業利益+2.1億円)
EUR (売上高+3億円、営業利益+0.3億円)
- ③ 特別損益
通期では、事業構造改革費用約180億円を特別損失として計上予定の一方で、
政策保有株式の縮減による売却益を織り込む。
- ④ 配当予想
中間38円、期末38円の年間配当76円を予定。(4月予想から年間10円の増配予定)